

第6回「古賀市生涯学習笑顔のつどい」(案)

平成31年2月27日

1 主旨

・2014年度に始まった「生涯学習笑顔のつどい」も来年度で、6回目(6年目)を迎えます。地域で行われている社会教育団体の活動を交流し、学び、広げることで、人と人が繋がる地域づくりを推進することを目的にスタートしました。5年間で古賀市内の各地域で活動をされている23の社会教育関係団体の方々に、活動発表をしていただきました。初めての試みで多くの困難がありましたが、参加者の声を集約すると「古賀の様々な良さを知り大変有意義だった。」「地道に活動をされている方々が笑顔のつどいで発表されて、市民の皆さんに知ってもらい良い機会になっている。」など、毎回好評な感想を多く頂いております。第5回笑顔のつどいも70%以上の方が「とてもよかった。」「よかった」と共感しています。

以上のような実績から社会教育の地域での活動を交流し・学び・広げ、地域づくり・人づくりに活かすという当初の目的は達成できたと考え、第5回目をもって、「笑顔のつどい」の第1ステージを終了します。

第6回目以降は、「笑顔のつどい」の第2ステージとして位置づけて開催していきます。第2ステージは、古賀市における「社会教育の課題を解決する」機会となる「笑顔のつどい」を「深める」をキーワードに、毎回テーマを絞って開催していきます。

2 第6回笑顔のつどいのテーマ 「地域で子どもの成長をどのように支援すればよいか」(仮)

わが国では、少子化、価値観の多様化、核家族化による自分主義(家族主義)、子育ての孤立化などが見られ、地域の教育力の低下、人のつながりの希薄化、自治会、子ども会、育成会からの脱退などが起きており、社会的課題とされています。このような影響を古賀市も少なからず受けており、このような状況の中、子どもの成長を支える活動が地道に行われています。今後、PTCA活動、コミュニティスクール、地域学校協働活動の流れの中、地域で実践されている子育ての団体の実践発表、課題などを整理・協議し、今後子どもの成長をどのように支援すればよいかを共有していく機会とします。

- ### 3 形式
- ・第1部：研修・交流・課題提起の場
 - 第2部：各団体の実践発表、協議の場

- ### 4 日時
- 9月1日(日) 10時～12時10分

5 プログラム

(1) 第1部 (10時～11時) 全体会 (研修・交流・課題提起の場) 多目的ホール

- ①オープニング映像 (5分)
- ②開会の言葉 (3分)
- ③アトラクション (10分)
- ④実践発表2団体 (30分) コーディネーター (井浦委員)

(1) 15分×2団体

2団体に実践発表をしてもらい、その中で、成果や課題などを問題提起してもらう。

それを受けて、井浦先生から実践発表が、地域でどのような子育て支援になっているかを整理してもらう。また、課題 (組織、人材、活動内容など) から第2部への分科会の流れを示唆してもらう。

⑤まとめ (井浦) (10分)

- ・講評並びに第2部につながる協議の柱、課題の提案

(2) 第2部開催 (11時10分～12時10分) 各団体の活動発表・協議の分科会

・交流館、公民館、歴史資料館などの部屋を使用 () 団体の数

(例)

〇〇団体

〇〇団体

〇〇団体

〇〇団体

・第2部の活動発表の場の持ち方は、各団体に任せる。

(例) 発表+協議 発表+ワークショップ 発表+パネルディスカッション など

(3) 閉会行事

・各分科会で閉会行事、解散

6 開催形式

(1) 実行委員会形式（社会教育委員の会議＋実践発表団体＋分科会での活動発表団体）


7 タイムスケジュール

①3月末までに、アトラクション、活動発表、実践発表の団体の決定

第1回実行委員会（4月～5月）

主旨、期日、会場、形式、つどいの内容、タイムスケジュール確認

第2回実行委員会（6月～7月）

詳細な当日案決定  新規開催チラシ作成、配布、メール配信
(各小中学校 (PTCA 実数)、高校配布、社会教育、行政区など)

第3回実行委員会（8月）

最終打ち合わせ、リハーサル、準備など

②9月の社会教育委員の会議（笑顔のつどいの反省）

8 その他

- ・予算の確保
- ・会場の確保
- ・オープニング映像の BGM の検討
- ・チラシを新しい作成者に依頼
- ・各分科会の出席者の確認、アンケートの回収方法
- ・第6回笑顔のつどいの実施要項を平成30年度の社会教育委員の会議の活動報告書に掲載し、提言する。
- ・第6回笑顔のつどいのまとめを誌上報告する。(市の広報誌などを通じて)